

東証の高値と新しい先端産業と国際資本

令和6年2月22日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

先端産業の技術力と資本力は、国際金融資本の投資を集め、東証の高値を与える。これらは完全な社会の2分化なのである。

これらは新しいエリートたちの描く未来が存在し、それらに参加できない人々と社会を2分するものである。

これら学識と地位名声と富は、自由主義における勝利者たちの新しい未来なのである。

これら先端性への参加は唯一未来への参加の必要性であり、全ての企業はこれらグローバルスタンダードの洗礼を自己に与えられる。

これら技術力と資本力は、現実のプレゼンスであり、現実そのものなのである。これら現実がさらなる未来の創造を行なっているのである。

これら自由主義と資本主義の結語は、その勝利者たちの描く新しい夢と未来なのである。

しかし企業はこれら基準への挑戦を放棄してはいけない。これら基準をクリアし、それら未来への参加を自己に求めなくてはならないのである。

これらが新しいグローバルスタンダードにおける企業の構築であり、これらが唯一未来という現実を自己に与えることができるのである。

競争は進歩を与えるものである。これらが新しい基準であり、プレゼンスなのである。

これら新しい現実を受領し、自己を求めることはより優れた現実を自己に与えることなのである。

これらは、過去の企業努力が時代を得、自立と独立における自らの創造性というゴールへ至ることは真実なのである。